

酵母由来のネイティブグルタミン酸脱水素酵素 (NADP+)

Cat. No. NATE-1037

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 グルタミン酸脱水素酵素(GLDH)は、ほとんどの微生物および真核生物のミトコンドリアに

存在する酵素であり、尿素合成に必要な他のいくつかの酵素と同 \square です。この酵素は、グルタミン酸を α -ケトグルタル酸に \square 換し、その逆も行います。動物では、生成されたアンモニアは通常、尿素回路の基質として使用されます。一般的に、 α -ケトグルタル酸からグルタミン酸への反 \square は哺乳類では発生せず、グルタミン酸脱水素酵素の平衡はアンモニアと α -ケトグルタル

酸の生成を優先します。

別名 グルタミン酸脱水素酵素 (NADP+); グルタミン酸脱水素酵素; 脱水素酵素; グルタミン酸 (ニ

コチンアミドアデニンジヌクレオチド (リン酸)); グルタミン酸脱水素酵素; L-グルタミン酸脱水素酵素; NAD(P)-グルタミン酸脱水素酵素; NAD(P)-グルタミン酸脱水素酵素

ルタミン酸脱水素酵素; グルタミン酸脱水素酵素 (NADP); EC 1.4.1.4; GLDH

製品情報

由来 酵母

形態 凍結乾燥粉末

EC番号 EC 1.4.1.4

*CAS*登□番号 2604121

活性 > 10 U/mg タンパク質

混入物 (GIDH活性 = 100%) グルコース-6-リン酸脱水素酵素 < 0.1 % ホスホグルコン酸脱水素酵

素 < 0.5 % グルタミン酸脱水素酵素(NAD+) < 0.1 % グルタチオン還元酵素 < 0.1 %

NADPHオキシダーゼ < 0.01 %

保管・発送情報

保存方法 -20°C以下